

平成28年度 民間競争入札実施事業  
空港土木施設維持修繕工事の実施状況について

I. 事業の概要

1. 内容

航空機運航の安全性及び定時性を確保するため、着陸帯等の草刈、滑走路等の舗装面清掃、排水溝清掃、滑走路等の標識維持、植木手入れ、除雪、巡回点検、緊急補修の工事等を、日々の運用との総合的な調整のもと、適切な進捗管理を行いながら実施するものである。

2. 業務実施期間

平成28年4月1日～平成31年3月31日

平成28年7月12日～平成31年3月31日（徳島空港）

3. 対象空港及び受注者

新千歳空港	:	地崎道路株式会社
三沢空港	:	有限会社睦建設
東京国際空港(制限区域内)	:	中央工営株式会社
小松空港	:	大成ロテック株式会社
美保空港	:	美保テクノス株式会社
徳島空港	:	大東興業株式会社
高知空港	:	株式会社NIPPO
長崎空港	:	株式会社小森組
大分空港	:	有限会社幸野建設
那覇空港	:	光南建設株式会社

4. 受注者決定の経緯

対象空港10空港それぞれの空港土木施設維持修繕工事における民間競争入札実施要項及び入札説明書に基づき、新千歳空港1者、三沢空港2者、東京国際空港（制限区域内）1者、小松空港2者、美保空港1者、徳島空港1者、高知空港1者、長崎空港2者、大分空港1者、那覇空港2者から提出された競争参加資格申請書類及び技術提案書について、外部有識者を含む評価者により審査した結果、いずれも入札参加資格及び評価基準を満たしていた。入札価格については、平成28年2月8、9日に開札した結果、徳島空港を除く9空港において各1者が予定価格の範囲内であったことから、それぞれの総合評価及び施工体制を確認するための審査を行い、評価値の最も高い上記の者が落札者となった。

また、徳島空港については、平成28年2月8日に開札した結果、1者から応札があったものの、予定価格を下回らなかったことから入札不調となったため、改め

て入札手続きを行ったところ、入札参加者1者から競争参加資格確認申請書類及び技術提案書が提出されたことから、外部有識者を含む評価者により審査した結果、入札参加資格及び評価基準を満たしていた。入札価格については、平成28年5月19日に開札した結果、1者が予定価格の範囲内であったことから、総合評価及び施工体制を確認するための審査を行い、上記の者が落札者となった。

## II. 確保すべき質の達成状況及び評価

### 1. 信頼性の確保

(1) 目標：不具合の復旧未実施件数 0件

(2) 測定指標：土木施設の維持工事に起因する不具合の復旧を全て行うこと。

(3) 結果：下表のとおり、2年間を通じて 0件

#### 【平成28年度】

空港名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新千歳空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
三沢空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
東京国際空港 (制限区域内)	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
小松空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
美保空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
徳島空港	—	—	—	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
高知空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
長崎空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
大分空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
那覇空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						

#### 【平成29年度】

空港名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新千歳空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
三沢空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
東京国際空港 (制限区域内)	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
小松空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
美保空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
徳島空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
高知空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
長崎空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
大分空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
那覇空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						

※滑走路等舗装不具合対応件数（2ヶ年合計）は以下のとおりであり、上表件数は対応未実施の件数である。

空港名	平成28年度	平成29年度	合計
新千歳空港	80件	91件	171件
三沢空港	3件	3件	6件
東京国際空港(制限区域内)	246件	257件	503件
小松空港	2件	2件	4件
美保空港	5件	3件	8件
徳島空港	2件	0件	2件
高知空港	13件	2件	15件
長崎空港	4件	3件	7件
大分空港	4件	3件	7件
那覇空港	89件	114件	203件

## 2. 安全性の確保

(1) 目標：航空機の運航への影響件数 0件

(2) 測定指標：土木施設の維持工事に起因する航空機の破損又は損傷による航空機の運航への影響がないこと。

(3) 結果：下表のとおり 2年間を通じて 0件

### 【平成28年度】

空港名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新千歳空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
三沢空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
東京国際空港 (制限区域内)	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
小松空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
美保空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
徳島空港	—	—	—	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
高知空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
長崎空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
大分空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
那覇空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						

### 【平成29年度】

空港名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新千歳空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
三沢空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
東京国際空港 (制限区域内)	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
小松空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
美保空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
徳島空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
高知空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
長崎空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
大分空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						
那覇空港	0件	0件	0件	0件	0件	0件						

3. 維持工事において確保すべき水準の実施状況

- (1) 滑走路、誘導路及びエプロン舗装の表面に石片や異物など航空機の損傷の原因となるものがないこと。

【平成28年度】舗装面清掃工の実施回数

空港名	滑走路	誘導路	エプロン
新千歳空港	4回	4回	4回
三沢空港	—	4回	4回
東京国際空港 (制限区域内)	6回	6回	12回
小松空港	—	4回	4回
美保空港	—	6回	6回
徳島空港	—	4回	4回
高知空港	6回	6回	6回
長崎空港	6回	6回	6回
大分空港	6回	6回	6回
那覇空港	6回	6回	12回

【平成29年度】舗装面清掃工の実施回数

空港名	滑走路	誘導路	エプロン
新千歳空港	4回	4回	4回
三沢空港	—	4回	4回
東京国際空港 (制限区域内)	6回	6回	12回
小松空港	—	4回	4回
美保空港	—	6回	6回
徳島空港	—	6回	6回
高知空港	6回	6回	6回
長崎空港	6回	6回	6回
大分空港	6回	6回	6回
那覇空港	6回	6回	12回

【所見】

何れの空港においても適切に清掃が実施され、清掃の不備による苦情等は発生していない。

(2) 飛行場標識施設の表面が明瞭に識別できること。

【平成28年度】飛行場標識工の実施回数

空港名	滑走路	誘導路	エプロン
新千歳空港	1(3)回	1回	1回
三沢空港	—	1回	1回
東京国際空港 (制限区域内)	3(4)回	2回	2回
小松空港	—	1回	1回
美保空港	—	1回	1回
徳島空港	—	1回	1回
高知空港	1(2)回	1回	1回
長崎空港	1(2)回	1回	1回
大分空港	1(2)回	1回	1回
那覇空港	1(3)回	1回	1回

【平成29年度】飛行場標識工の実施回数

空港名	滑走路	誘導路	エプロン
新千歳空港	1(3)回	1回	1回
三沢空港	—	1回	1回
東京国際空港 (制限区域内)	3(4)回	2回	2回
小松空港	—	1回	1回
美保空港	—	1回	1回
徳島空港	—	1回	1回
高知空港	1(2)回	1回	1回
長崎空港	1(2)回	1回	1回
大分空港	1(2)回	1回	1回
那覇空港	1(3)回	1回	1回

※括弧書き（ ）は、滑走路中心線の実施回数

【所見】

何れの空港においても適切に標識工が実施され、標識工の不備による苦情等は発生していない。

(3) 滑走路、誘導路及びエプロン舗装の表面に航空機運航の阻害となるおそれのあるひび割れ、凹み剥離等がないこと。

【平成28年度】巡回点検の実施回数

空港名	滑走路	誘導路	エプロン
新千歳空港	3回	3回	3回
三沢空港	—	4回	4回
東京国際空港 (制限区域内)	6回	6回	6回

小松空港	—	9回	9回
美保空港	—	6回	6回
徳島空港	—	5回	5回
高知空港	3回	3回	3回
長崎空港	3回	3回	3回
大分空港	4回	4回	4回
那覇空港	4回	4回	3回

【平成29年度】巡回点検の実施回数

空港名	滑走路	誘導路	エプロン
新千歳空港	3回	3回	3回
三沢空港	—	4回	4回
東京国際空港 (制限区域内)	6回	6回	6回
小松空港	—	9回	9回
美保空港	—	6回	6回
徳島空港	—	7回	7回
高知空港	3回	3回	3回
長崎空港	3回	3回	3回
大分空港	4回	4回	4回
那覇空港	4回	4回	3回

【所見】

何れの空港においても適切に点検が実施され、監督職員の指示により適切に補修が行われている。

(4) 排水施設が良好な状態で機能すること。

【平成28年度】排水溝清掃工の実施回数

空港名	排水溝	集水桝
新千歳空港	1回	1回
三沢空港	1回	1回
東京国際空港 (制限区域内)	1(3)回	1回
小松空港	1回	1回
美保空港	1回	1回
徳島空港	1回	1回
高知空港	1回	1回
長崎空港	1回	1回
大分空港	1回	1回
那覇空港	1(2)回	1回

【平成29年度】排水溝清掃工の実施回数

空港名	排水溝	集水桝
新千歳空港	1回	1回
三沢空港	1回	1回
東京国際空港 (制限区域内)	1(3)回	1回
小松空港	1回	1回
美保空港	1回	1回
徳島空港	1回	1回
高知空港	1回	1回
長崎空港	1回	1回
大分空港	1回	1回
那覇空港	1(2)回	1回

※括弧書き（ ）は、素堀排水溝の実施回数

【所見】

何れの空港においても適切に排水溝の清掃が実施され、排水溝清掃工の不備による苦情等は発生していない。

(5) 道路・駐車場が良好な状態に保たれていること。

【平成28年度】清掃の実施回数

空港名	道路・駐車場（清掃）
新千歳空港	5回
三沢空港	4回
東京国際空港 (制限区域内)	—
小松空港	1回
美保空港	1回
徳島空港	1回
高知空港	1回
長崎空港	1回
大分空港	1回
那覇空港	6回

【平成29年度】清掃の実施回数

空港名	道路・駐車場（清掃）
新千歳空港	5回
三沢空港	4回
東京国際空港 (制限区域内)	—
小松空港	1回
美保空港	1回

徳島空港	1回
高知空港	1回
長崎空港	1回
大分空港	1回
那覇空港	6回

【所見】

何れの空港においても適切に清掃が実施され、清掃の不備による苦情等は発生していない。

- (6) 植栽の特性に合った年間の施工計画を策定し、植栽が良好な状態に保たれていること。

【平成28年度】植木手入れ工の実施回数

空港名	剪定	施肥	灌水	薬剤散布
新千歳空港	1回	2回	—	—
三沢空港	1回	—	—	—
東京国際空港 (制限区域内)	2回	1回	1回	1回
小松空港	1～2回	1回	—	2回
美保空港	1回	1回	1回	2回
徳島空港	1回	2回	5回	2回
高知空港	1回	1回	4回	2回
長崎空港	1回	1回	2回	2回
大分空港	1～2回	1回	2回	2回
那覇空港	1～2回	1回	—	—

【平成29年度】植木手入れ工の実施回数

空港名	剪定	施肥	灌水	薬剤散布
新千歳空港	1回	2回	—	—
三沢空港	1回	—	—	—
東京国際空港 (制限区域内)	2回	1回	1回	1回
小松空港	1～2回	1回	—	2回
美保空港	1回	1回	1回	2回
徳島空港	1回	2回	5回	2回
高知空港	1回	1回	4回	2回
長崎空港	1回	1回	2回	2回
大分空港	1～2回	1回	2回	2回
那覇空港	1～2回	1回	—	—

【所見】

何れの空港においても適切に植木手入れが実施され、植栽が良好な状態に保たれている。また、植木手入れ工の不備による苦情等も発生していない。

- (7) 滑走路、誘導路及びエプロン舗装の表面が降雪等で航空機の運航に支障とならないよう良好な状態に保たれていること。

【平成28年度】除雪等の実施回数

空港名	除 雪	凍結防止剤散布
新千歳空港	227回	63回
三沢空港	14回	5回
東京国際空港 (制限区域内)	0回	3回
小松空港	12回	1回
美保空港	13回	6回
長崎空港	0回	0回
大分空港	0回	0回

【平成29年度】除雪等の実施回数

空港名	除 雪	凍結防止剤散布
新千歳空港	171回	77回
三沢空港	18回	12回
東京国際空港 (制限区域内)	2回	4回
小松空港	42回	0回
美保空港	16回	10回
長崎空港	0回	1回
大分空港	0回	1回

【所見】

何れの空港においても、各空港に配備された除雪機材に適した体制で監督職員の指示に従って確実に除雪が行われている。

4. 評価

確保すべき質としての信頼性、安全性が確保され、確保すべき要求水準については何れの項目においてもすべて達成されており、施工後の苦情等もなく、維持工事に起因する航空機の運航や構内道路の道路交通への影響等は発生していない。

### Ⅲ. 実施経費の状況及び評価

#### 1. 平成28年度当初契約額（括弧内は1年分に案分した額）

(1) 新千歳空港土木施設維持修繕工事	2,076,840,000円（税込）
	（ 692,280,000円（税込） ）
(2) 三沢空港土木施設維持修繕工事	88,236,000円（税込）
	（ 29,412,000円（税込） ）
(3) 東京国際空港土木施設維持修繕工事	2,420,280,000円（税込）
	（ 806,760,000円（税込） ）
(4) 小松空港土木施設維持修繕工事	182,520,000円（税込）
	（ 60,840,000円（税込） ）
(5) 美保空港土木施設維持修繕工事	81,000,000円（税込）
	（ 27,000,000円（税込） ）
(6) 徳島空港土木施設維持修繕工事	82,620,000円（税込）
	平成28年度（ 22,534,000円（税込） ）
	平成29・30年度（ 30,043,000円（税込） ）
(7) 高知空港土木施設維持修繕工事	194,400,000円（税込）
	（ 64,800,000円（税込） ）
(8) 長崎空港土木施設維持修繕工事	170,640,000円（税込）
	（ 56,880,000円（税込） ）
(9) 大分空港土木施設維持修繕工事	151,200,000円（税込）
	（ 50,400,000円（税込） ）
(10) 那覇空港土木施設維持修繕工事	562,680,000円（税込）
	（ 187,560,000円（税込） ）

#### 2. 市場化テスト導入前後の比較

##### (1) 競争入札応募者数（市場化テスト導入前との比較）

空港名	平成24年度	平成28年度
新千歳空港	1者	1者
三沢空港	1者	2者
東京国際空港（制限区域内）	1者	1者
小松空港	2者	1者
美保空港	1者	1者
徳島空港	1者	1者
高知空港	2者	1者
長崎空港	1者	2者
大分空港	2者	1者
那覇空港	2者	2者

##### (2) 落札率等

（単位：千円）

空港名	① 平均24年度 落札率	② 平成28年度 落札率	③ 落札率差 ②－①	④ 平成28年度 当初契約額	⑤ 落札率効果 ③×④
新千歳空港	98.87%	97.98%	▲0.89%	692,280	▲6,161
三沢空港	99.50%	93.81%	▲5.69%	29,412	▲1,674
東京国際空港	98.29%	97.13%	▲1.16%	806,760	▲9,358

小松空港	98.10%	88.39%	▲9.71%	60,840	▲5,908
美保空港	97.78%	93.23%	▲4.55%	27,000	▲1,229
徳島空港	99.45%	94.58%	▲4.87%	30,043	▲1,463
高知空港	95.58%	93.72%	▲1.86%	64,800	▲1,205
長崎空港	96.84%	92.13%	▲4.71%	56,880	▲2,679
大分空港	94.61%	94.10%	▲0.51%	50,400	▲257
那覇空港	85.46%	85.84%	0.38%	187,560	713
計	—	—	—	2,005,975	▲29,221
平均	96.45%	93.09%	▲3.36%	—	▲2,922

※④欄は、3ヶ年分の受注額を1年分に案分した金額

※徳島空港に関しては平成28年度の工期が1年に満たないため、平成29・30年度の1年分に案分した額で比較

(3) 契約額 (税込)

(単位:千円)

空港名	① 平均24年度 当初契約額	② 平成28年度 当初契約額	③ 差額 ②-①
新千歳空港	535,500	692,280	156,780
三沢空港	23,100	29,412	6,312
東京国際空港 (制限区域内)	621,600	806,760	185,160
小松空港	48,090	60,840	12,750
美保空港	23,310	27,000	3,690
徳島空港	22,050	30,043	7,993
高知空港	53,340	64,800	11,460
長崎空港	43,050	56,880	13,830
大分空港	36,750	50,400	13,650
那覇空港	124,425	187,560	63,135
計	1,531,215	2,005,975	474,760

※②欄は、3ヶ年分の受注額を1年分に案分した金額

※徳島空港に関しては平成28年度の工期が1年に満たないため、平成29・30年度の1年分に案分した額で比較

(4) 経費の増減要因

- ・契約額については、全空港平均で約31%上昇している。
- ・これらの主な要因としては、労務単価の上昇(10空港平均約30%)に加え、施工数量(緊急補修や除雪回数など)の増加により増額となっているが、落札率は低下し、約290万円の落札率効果が発現している。

3. 受注者からの技術提案を反映した業務の履行状況

- ・緊急時(地震、台風等自然災害含む)への配慮  
何れの空港においても、緊急時の参集体制の確立や緊急時に必要な資機材の確保等といった提案がなされ、緊急時の速やかな対応が可能となる体制が組まれている

た。

- ・日々の工事内容に係る配慮

何れの空港においても、日々の作業時間内完了のために、時間管理による作業量の調整（タイムチャート作成、進捗管理）や作業用資機材等の置き忘れによる運航への影響防止対策（持ち込み品チェックリスト管理）等の提案がなされ、日々の工事内容に係る対策が確実に実施された。

#### 4. 評価

応札者数は、対象空港10空港全体で14者から13者となり、1者減少している。落札率は、対象空港10空港平均で3.36%下がっている。

また、技術提案に関しては、緊急時及び日々の工事内容に係る配慮について必要な提案がなされ、確実に実施されている。

### IV. 総括

#### 1. 実施状況

各空港において、確保すべき質としての信頼性、安全性が確保され、確保すべき要求水準についてもすべて達成されているもので、航空の安全且つ円滑な運航に貢献している。

落札率は低下しているが、競争参加資格要件の緩和や複数年契約による初期投資リスクの緩和などにより一定の効果は認められるものの、依然として1者応札の状況が発生している。

#### 2. 市場化テストにおける取組

平成23年度から順次導入してきた市場化テストにおいて、応札者数の拡大を図るため、複数年契約による初期投資リスクの緩和、競争参加資格要件の緩和、人材確保等のための準備期間確保、競争参加資格要件を持つ全ての民間事業者に対してのパブリックコメント資料の送付、業務の内容について、民間事業者の理解の促進を図るために、希望者に対して業務説明及び現場見学会を実施するなど様々な入札改善策を講じてきたところ、市場化テスト導入前と比べると、全体平均では落札率は低下傾向となっている。他方、依然として1者応札の空港も見受けられた。

#### 3. 今後の方針

平成23年度から市場化テストを順次導入してきた本業務は、各空港のすべての契約において実施が一巡し、平成26年度の契約分から二巡目に入った。

本業務の市場化テストについては、官民競争入札等監理委員会から「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」（平成26年3月19日付）により、本業務においては「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」（平成18年6月2日法律51号）の対象から外れることの可否について、平成28年度に官民競争入札等監理委員会並びに入札監理小委員会の審議を受けた結果、市場化テスト継続の必要性がない事業として判断され、法の対象から外れることが決定した。

上記の経緯から官民競争入札等監理委員会において審議されてきた業務実施期間、競争参加資格要件、入札手続き及び情報開示に関する取り組みについては、一定の効果があったことを踏まえ、今後の本業務については、市場化テスト終了後も継続するものとし、既に東京航空局及び大阪航空局に設置している第三者委員会での審議による対応について、引き続き実施するものとする。

## V. 第三者委員会への報告内容及び第三者委員会での意見

### ○東京航空局

#### (1) 報告内容

公共サービス（空港土木施設の維持管理業務）の実施状況

#### (2) 意見等

良質かつ低廉な公共サービスの実現について一定の効果があり、引き続き参入促進に努められたい。

### ○大阪航空局

#### (1) 報告内容

公共サービス（空港土木施設の維持管理業務）の実施状況

#### (2) 意見等

確保すべき要求水準が満たされており、円滑な運営及び運航の安全性の確保が図られている。引き続き、点検結果等を踏まえた補修計画に基づき、効率的な補修を行う事等により、公共サービスの質の向上に努められたい。